

令和8年度 第1回 木更津市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時・場所	令和8年6月24日（水）午後3時30分～4時40分 木更津市役所 朝日庁舎（会議室1－4）
出席者	【委員】松清会長・友光委員・石井委員・齋藤委員・並木委員・浜田委員 【事務局】阿津福祉部長 高齢者福祉課：大倉野課長・服部係長・高師主事・境事務員 地域包括支援センター：青木管理者（中部）・佐藤管理者（東部）・金子管理者（西部）・佐々木管理者（南部）・前田管理者（北部）・山田管理者（富来田）
傍聴人	なし
議題	議題1 令和7年度木更津市地域包括支援センター事業報告及び収支決算について 議題2 令和8年度木更津市地域包括支援センター事業計画及び収支予算について 議題3 指定介護予防支援の委託先指定居宅介護支援事業者との契約について
議事の内容	議題1 令和7年度木更津市地域包括支援センター事業報告及び収支決算について 事務局説明：木更津市における各地域包括支援センターの人口や高齢化率等のデータ提示につづき、令和7年度事業報告及び収支決算について、各地域包括支援センターから運営体制・相談件数・カフェ等の支援状況・困難事例を含めた課題等の報告があった。それぞれ、地域に根差した活動・支援をするなかで、多くの相談を受けているが、相談内容は介護の相談が一番多く、また、虐待を含む権利擁護の問題に各包括は関係機関と協力し取り組んでいる旨の報告があった。 質疑・意見： 特になし 議題2 令和8年度木更津市地域包括支援センター事業計画及び収支予算について 事務局説明：令和8年度事業実施にあたっての留意点については、令和7年度末の今回の本協議会で承認いただいたものである旨の説明のち、各地域包括支援センターから、令和8年度事業計画及び収支予算について説明があった。総合相談支援の強化、認知症施策推進、高齢者虐待防止・権利擁護、地域ケア会議充実、ICT 活用による連携促進などについて、各包括支援センターから説明。 質疑・意見： 1さまざまな活動に男性参加者が少ないという課題について、委員を含めた意見交換がなされ、スポーツ・学習型活動の有効性、男性同士の誘導の重要性などが意見として出された。 2現在も相談件数が多いが、高齢者人口の増加に伴い相談件数も今後さらに増加することが予想される。そのような状況の中で、地域包括支援センターは増加する相談件数すべてに対して対応しきれているのか、また、対応が難しい場合にはどのような工夫や対応をされているのか質問あり。 回答：地域包括支援センターでは、電話や来所による相談については、まずは断らずに一通りお話を伺うことを基本とし、その上で内容に応じて最も適切な支援機関やサ

	ービスへつなぐことも重要な役割としている。すべての相談をセンター単独で対応しているわけではなく、必要な専門機関へ適切につなぐことで支援を行っている。そのため、相談対応が大きく滞るという状況は現時点では生じていないと認識している。一方で、相談にとどまらず医療機関受診支援などは多くの時間を要するため現場の大きな課題と認識している。 議題3 指定介護予防支援の委託先指定居宅介護支援事業者との契約について 事務局説明：介護認定において、要支援と認定された方の介護予防ケアマネジメントを行う事業者として、地域包括支援センターが指定されているが、その業務の一部を委託することに際しては、運営協議会の承認が必要であるため、前回の承認以後に契約を締結した事業所31件分について承認を諮る。 質疑・意見： 特になし 会議終了
審議の結果	議題1 <u>承認</u> 議題2 <u>承認</u> 議題3 <u>承認</u>